

NO. 115

発行：墨田区議会事務局

130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号☎5608-1111代表

すみだ

区議会だより

2000.7.30

すみだ

やさしいまち

宣言議決



「あ お 虫 が ち ょ う に な っ た よ 」 島崎よし子さん（錦糸二丁目在住）の作品です。 ※1面に掲載する写真を募集しています。

会議日程――（会期27日間）

第2回定例会中に開かれた主な会議は、次のとおりです。

6月15日	本会議	・会期の決定 ・一般質問
20日	本会議	・一般質問 ・区長提出議案の説明・委員会付託
7月 3日	地域環境文教委員会	・付託議案の審査等
4日	福祉保健委員会	・付託議案の審査等
5日	区民商工建設委員会	・付託議案の審査等
6日	企画総務委員会	・付託議案の審査等
10日	議会運営委員会 区議会だより編集委員会	・本会議の議事運営 ・第115号の発行について
11日	本会議	・区長提出議案の説明 ・議案の議決

●第2回――定例会

墨田区議会は、平成12年第2回定例会を6月15日から7月11日までの27日間にわたって開きました。今定例会では、5人の議員が一般質問を行ったほか、区長から提出された全議案及び議員提出議案4件を原案どおり可決しました。

また、6月15日の本会議では、一般質問に先立ち、園田隆明議員、槐勲議員及び西恭三郎議員が在職25年を迎えたため、永年在職議員表彰の決議を行いました。

■皇太后陛下崩御に伴う奉悼文

7月11日の本会議冒頭において、6月16日に崩御された皇太后陛下（香淳皇后）のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げた後、「皇太后陛下崩御に伴う奉悼文」を可決しました。可決された奉悼文は、7月12日に、議長が宮内庁に持参し、奉呈しました。（3面参照）

■外国人行政に関する意見書

各地方自治体では、日本に住む外国籍住民への対応・取組がなされておき、本区においても、国際意識の高揚と実質的な国際交流活動の支援等を目的として、各種の事業を展開しているところです。しかし、現状における対応は十分であるとは言えず、なお改善の余地があるため、外国籍住民が差別や偏見を受けることなく地域の一員としての生活が送れるように、政府に要望する意見書を全会一致で可決しました。（4面参照）

■東京地方・高等裁判所の裁判官の増員に関する意見書

増大する法的な紛争に対しては、透明性あるルールに基づいた司法機能を充実させ、適正かつ迅速に解決することなどが求められています。しかし、裁判の解決に時間がかかる等の批判が多いため、訴訟事件数に見合った東京地方・高等裁判所の裁判官の増員を強く要望する意見書を全会一致で可決しました。（4面参照）

■すみだやさしいまち宣言について

本宣言は、「やさしいまち豊かなまち元氣なまち・すみだ」の実現に向けて、体系的な施策を推進するための基本理念となるものであり、区民のみならず区が一体となって「やさしいまち」の実現に取り組む決意を、21世紀を目前にし、地方分権元年であるこの機会に表明するものです。

一般質問

区政を問う！

すみだやさしいまち宣言 を実効あるものに



「すみだやさしいまち宣言」に基づく運動は、区民が主体となっていくかねばならない。計画では、8月以降に宣言に基づく区民運動を展開していくとのことであるが、実施までに趣旨が区民に浸透するのかが懸念している。

教育委員会も積極的に「人づくり」施策の展開を図りたい。

自由民主党
中嶋 常夫

●旧精工舎跡地開発計画は
地元地域と十分な調整を

旧精工舎跡地開発計画は、人口流入促進のきっかけになるものと思うが、夜間人口及び錦糸町に訪れる人口をどう予想しているのか。出店業者が融合し、回遊性を活かすことによって、地元商店会との相乗効果があらわれる開発を期待したいが、既存大型商業者等と開発業者は話し合いをしているのか。また、区はどのような方針で指導するのか。錦糸町駅周辺地区に指定する予定の地区計画の区域外の近隣住民にはどのように意見を聴くのか。

また、この宣言を教育委員会はどのように活かしていくのか。

区民の方々が宣言の趣旨を十分に理解し自ら行動し実践していくことが最も大切である。あらゆる広報媒体や機会を通じて啓発に努め、区民の実践行動につなげていきたい。運動を定着させるために区内の実情を把握することとは指摘のとおりであり、まさに足を運ぶことは必要不可欠である。さらには、コミュニティラインなどを活用し実情把握に努めるよう指示したい。実施後も、区民協議会と定期的に情報交換して状況把握に努め検証結果を反映させたい。

6月15日及び20日に、自由民主党、自民区議団、公明党、日本共産党から5人の議員が区長及び教育長に対して一般質問を行いました。

いく動きがあるので、こうした動きに合わせ、開発の内容を説明し、地域との信頼関係を築きながら進めていくように指導したい。

毅然とした姿勢・組織で 倫理保持に努めよ



公務員の信頼回復と良識確保のための国家公務員倫理規程の施行に伴い、区主催のパティー等に対し国家公務員の来賓にどのような配慮をしているのか。また、新年祝賀会等の懇談会での飲食提供の基準を設けてもらいたい。民間団体主催の席に出席する際の基準については、どう考えているのか。

●「いじめ」に対する柔軟な
対応・指導を望む

自民区議団
出羽 邦夫

「いじめ」による自殺は後を絶たず、登校拒否は、「いじめ」だけが原因ではないが、今や増加の一途である。過去に墨田区で、卒業まで「いじめ」の事実関係がはっきりしなかった事件があり相談を受けた。担任や校長先生の対応、教育委員会の対応はいかがなものであったのか。この学校で起きても不思議でないような事態が二度と起きないよう努めていく。

国家公務員のみならず、地方公務員にも求められる公務員倫理は、職員の倫理保持のための施策を地方公共団体にも講じる義務が課されるものであるが、本区では、どのように対応していくのか。

国家公務員を招待する際は、法の趣旨に十分斟酌した対応を考えている。区主催行事の飲食の提供には、明確な基準を設けてないが、華美にならないことを基本として極力抑制し行事目的を十分検討の上、実施している。民間主催行事への出席については区民の不信を招かないよう職員の意識改革、モラル低下の防止等も含め、基準づくりを現在行っている。不祥事で区民の信頼を失うことにならぬよう、今後も、管理・監督者への指導、研修等の機会を通じて、職員の職務に関わる倫理の保持向上に努めていく。

ホームレス問題に対し、徹底した 対策、優先した取り組みを



「やさしいまち 豊かなまち 元気なまち・すみだ」を目指す中、増加するホームレスが一部公園等を占拠する現状は本区のイメージダウンに繋がっており、対策が迫られている。この問題は、都・23区などで協議され、宿泊・就労支援、生活相談、自立プログラム作成を行う路上生活者自立支援センターの設置が本区で

公明党
坂岸 榮治

は13年度に予定されているが、抜本的な対応策とは思えない。徹底した対策が必要と考えるが、区長の所見を伺う。

今回の自立支援センター事業は、ホームレスの就労・社会復帰による自立・支援が目的であり、これに該当しない高齢又は、労働能力に欠けるホームレスには別途の対応が必要である。

企画総務委員会のもよう

一般会計補正予算を可決

7月6日

（議案）東京都墨田区公告式条例等の一部を改正する条例…区の名称との整合を図るとともに、地方自治法の一部改正により特別区が基礎的公共団体として位置付けられたことに伴い条例の題名を改める等のもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

（議案）平成12年度墨田区一般会計補正予算…議員の報酬及び費用弁償を1230万円減額するとともに、「(仮称)すみだやさしいまち宣言」啓発事業費780万円、課外クラブ活動用具等の購入助成300万円及び「子ども110番」実施等の助成150万円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

（陳情）地方競馬場外発売所の設置に関する陳情…「地元協議会の協議の推移をみて、議論を深めてほしい」、「議会が、賛否どちらか一方の立場に立つべきではない」などの意見が出され、閉会中も継続審査するものとした。

（報告）さくらケーブルテレビ(株)のインターネット事業について…郵政大臣からインターネットプロバイダー事業について許可があり、9月1日からサービスを開始することなど今後の事業予定について報告があった。

区民商工建設委員会のもよう

中小企業都市サミットの概要を報告

7月5日

（議案）墨田区小売市場条例の一部を改正する条例／墨田区中小企業振興基本条例の一部を改正する条例…中小企業基本法の一部改正により、中小企業者の範囲等が改められたことに伴い、規定を整備するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

（報告）国民年金制度の一部改正について…国民年金等改正法の施行に伴い、学生納付特例制度の創設など、一部が改正されたことについて報告があった。

（報告）墨田区中心市街地活性化基本計画の策定について…中心市街地活性化法に基づく墨田区中心市街地活性化基本計画の概要について報告があった。

（報告）第3回中小企業都市サミットについて…本区で開催し、「すみだ宣言」等を行った第3回中小企業都市サミットの概要について報告があった。

（報告）墨田区営住宅の使用料減免制度の改正について…減免後の負担額を、住宅の便益を反映させる低率方式とすることなどを内容とする都営住宅の使用料減免制度の改正にあわせ、区営住宅についても、13年4月から、同様の改正を行う旨の報告があった。



「子ども110番」ステッカー



第3回中小企業都市サミット

大都市問題の性格を有するため、一自治体のみで対応することは極めて困難であり、国、東京都、さらには23区が共同し、労働・福祉・環境など、多面的に取り組むことが必要かつ効果的であり、対応策を更に検討する必要がある。

●不登校児童・生徒に対する
早急な取り組みを

国に対しては、まず十分な財政負担をすることなどを区長会を通じて要望している。

●子どもを守るために
教育の危機を打開せよ

森首相の「神の国」発言について区長の認識を問う。

●家庭や地域と連携し地域に
根ざした学校づくりを

【7月3日】

【7月4日】

【問】 早速に取り組むべき課題の一つに、不登校児童、生徒への対応問題がある。長期、短期の欠席状況はあるにせよ急激な増加傾向に対して、従来からの対策の外に、児童生徒の学校復帰に効果のある対策をとるべきであると思うが、どうか。

【問】 中小企業サミットの成果について伺う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

【問】 高次脳機能障害に対する区の救済・支援体制を問う。

介護保険実施後の実態を把握し、改善策を検討せよ



日本共産党
高柳 東彦

【問】 すでに様々な矛盾が吹き出している。介護保険の利用料負担が重荷になり、サービスを低下させた人がどの位いるのか、把握すべきではないか。また、特別養護老人ホームの待機者数など、実態を把握し、制度改善や事業計画に活かしていくよう求める。

【答】 最大の問題は、国が、介護に対する財政負担を2500億円も削ったこと、これまでの福祉と結合させずに、保険の枠組みを機械的に

【問】 錦糸町における現在の一番の関心事は、地方競馬券売所設置問題である。環境悪化を誘発し、射幸心をあおる施設の拡充に対しては、平成11年第2回定例会で地方競馬券売所の設置反対を訴え、問題提起した。その後、設置要望の陳情と育成委員会や地元の人ら2万人の署名による反対の陳情が出され、企画総務委員会で慎重な審査が行われている。地元では、協議会を設置してこの問題等を協議しているとのことだが、区長はどのような結論を導き出そ

【答】 うとしているのか。活性化を図るには、定住人口を増やし、バリアフリーの整備をして安全、快適なまちづくりをすべきだ。

【問】 地域に根ざした学校となるには、学校、家庭、社会が相互に協調する必要がある。両国の林間学校や中和小の臨海学校などでのPTAとの連携は素晴らしい。このように、安全への相互理解で学校は開かれるのではないかと。学校施設の運用方法として、空教室を学童保育に開放しているが、これらの調整をどう考えるか。

【問】 学級人数を減らすよりも、教員の資質向上や複数担任制を取り入れることがより重要であると考えられる。学校及び学級運営の在り方、方法の基本的方針を定め、すべての学校で速やかに実行することが求められているのではないかと。学校行事は、学校だけの努力でできるものではない。

【問】 学校行事は、学校だけの努力でできるものではない。

副都心錦糸町活性化のために
地方競馬券売所は必要ない



自由民主党
林 恒雄

【問】 錦糸町における現在の一番の関心事は、地方競馬券売所設置問題である。環境悪化を誘発し、射幸心をあおる施設の拡充に対しては、平成11年第2回定例会で地方競馬券売所の設置反対を訴え、問題提起した。その後、設置要望の陳情と育成委員会や地元の人ら2万人の署名による反対の陳情が出され、企画総務委員会で慎重な審査が行われている。地元では、協議会を設置してこの問題等を協議しているとのことだが、区長はどのような結論を導き出そ

【答】 うとしているのか。活性化を図るには、定住人口を増やし、バリアフリーの整備をして安全、快適なまちづくりをすべきだ。

【問】 地域に根ざした学校となるには、学校、家庭、社会が相互に協調する必要がある。両国の林間学校や中和小の臨海学校などでのPTAとの連携は素晴らしい。このように、安全への相互理解で学校は開かれるのではないかと。学校施設の運用方法として、空教室を学童保育に開放しているが、これらの調整をどう考えるか。

【問】 学級人数を減らすよりも、教員の資質向上や複数担任制を取り入れることがより重要であると考えられる。学校及び学級運営の在り方、方法の基本的方針を定め、すべての学校で速やかに実行することが求められているのではないかと。学校行事は、学校だけの努力でできるものではない。

【問】 学校行事は、学校だけの努力でできるものではない。

地域環境文教委員会のもよう

ダイオキシン類の調査結果について報告

【7月3日】

【議案】 災害に際し応急措置の業務に従事した者等に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例…

【議案】 墨田区知的障害者生活ホーム条例の一部を改正する条例…

福祉保健委員会のもよう

墨田区たばな荘を移転

【7月4日】

【報告】 介護保険事業の状況について…

【報告】 民生委員法の改正について…

【報告】 民生委員法の改正について…



ダイオキシン類調査のための環境大気試料採取装置



高齢者福祉のしおり「たんぽぽ」

皇太后陛下崩御に伴う奉悼文

皇太后陛下の崩御に際し、墨田区民は大きな悲しみにつつまれております。陛下におかれましては、激動の時代を国民と共に歩まれ、幾多の困難の中、ひたすら国民の幸福を願ひ続けてこられました。また、陛下の絶やすことのない慈愛に満ちた優しい笑顔とお心づくしに、国民は深く敬慕申し上げておりました。私どもの祈りも空しく崩御されたことは、誠に痛恨極まりなく、墨田区議会は、ここに区民の心をこめ、謹んで哀悼の意を捧げます。

墨田区議会

定例会で決まった議案

今回の定例会で決定した議案は以下のとおりです。

●区長提出議案

<予 算>

・平成12年度墨田区一般会計補正予算

<条 例>

・東京都墨田区公告式条例等の一部を改正する条例

・墨田区小売市場条例の一部を改正する条例

・墨田区中小企業振興基本条例の一部を改正する条例

・災害に際し応急措置の業務に従事した者等に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例

・墨田区知的障害者生活ホーム条例の一部を改正する条例

<その他>

・すみだ やさしいまち宣言について

●議員提出議案

・皇太后陛下崩御に伴う奉悼文

・東京都墨田区議会事務局条例の一部を改正する条例

・外国人行政に関する意見書

・東京地方・高等裁判所の裁判官の増員に関する意見書

みなさんの声

「請願・陳情の
審査結果」

今定例会では、陳情7件のほか、平成12年第1回定例会で継続審査となった陳情10件について、所管の委員会で審査し、最終日の本会議で次のとおり決定いたしました。

■採択としたもの

④ 外国人行政に関する陳情

《第1項 多言語での自治体情報発信の充実を図ること 第2項 公共機関及び行政区域内の事業者において、人種差別的対応のないよう、適切な対策及び行政指導を行うこと》

「既に積極的に取り組んでいるところであるが、なお可能な範囲において、趣旨に沿うよう努力されたい」との意見を付して採択の上、執行機関に送付

《第3項 ビザ申請、更新に要する日数目安の新設及び再入国許可手続きの簡素化を検討すること、など6項目について、政府に意見書を提出すること》——意見書を提出

④ 東京地方・高等裁判所の裁判

官の増員に関する陳情——意見書を提出

■不採択としたもの

④ 地ダイオキシン発生の抑制に関する陳情——「趣旨に沿うことは困難である」

④ 治安維持に関する陳情——「趣旨に沿い難い」

④ 横田基地・多摩サービス補助施設の返還に関する陳情——「趣旨に沿い難い」

④ 石原都知事の「三国人」発言に関する陳情——「趣旨に沿い難い」

④ 石原都知事の「三国人」及び自衛隊治安出動に係る発言と都知事辞任に関する陳情——「趣旨に沿い難い」

④ 国民本位の公共事業の推進と執行体制の拡充に関する陳情——「趣旨に沿い難い」

④ 各種データの有効活用による自治体の経費節減に関する陳情——「趣旨に沿い難い」

④ 地域住民の足を守る利用しやすい安全なタクシーに関する陳情——「趣旨に沿い難い」

④ 継続審査としたもの

④ 地方競馬場外発売所の設置に関する陳情——同内容に関する陳情外6件

（一）内は所管委員会です。
④ 企画総務委員会
④ 区民商工建設委員会
④ 地域環境文教委員会
④ 福祉保健委員会

各特別委員会を開く

■自治制度改革特別委員会

（5月10日）

特別区制度改革の実施により都から移管された事務事業の状況及び都区財政調整制度における主要課題について報告されました。

また、平成8年11月に策定された「行政改革実施計画」に掲げる42課題の進捗状況及び実施内容の検証を行った「行政改革実施計画の成果」についても報告がありました。

■都市開発・交通対策特別委員会

（5月12日・7月12日）

錦糸公園周辺地区における「まちづくりアンケート」の実施状況、地区計画制度適用の意義と地区計画・用途地域の変更新案及び旧精工舎跡地における（仮称）東京建物錦糸町開発計画（案）について報告されました。

また、5月12日には、「曳舟駅周辺地区のまちづくりと地区計画」についても報告がありました。

■介護保険制度特別委員会

（5月15日）

5月時点における墨田区の介護保険事業の実施状況について、被保険者数、審査・認定状況、区内指定事業者及び相談苦情処理の状況等の報告がありました。

永年在職議員を表彰

今定例会初日の6月15日の本会議で、蘭田隆明議員、槐勲議員、西恭三郎議員が、今年で在職25年を迎えたことに伴って、永年在職議員として表彰決議を受けました。これは、区議会が、区政に対する永年の功績をたたえ表彰したものです。

（議席番号順）

墨田区議会公明党

蘭 田 隆 明

（略歴） 副議長、監査委員、区行財政・住宅対策特別委員長、防災・環境対策特別委員長、総務副委員長などを歴任。

東京都知事表彰、区政功労者（特別）表彰などを受章。

墨田区議会公明党

槐 勲

（略歴） 監査委員、区内産業人口問題調査特別委員長、防災・環境対策特別委員長、企画総務副委員長などを歴任。

東京都知事表彰、区政功労者（特別）表彰などを受章。

日本共産党墨田区議会議員団

西 恭 三 郎

（略歴） 区制調査特別委員長、決算特別副委員長、庁舎建設特別委員長、区行財政問題調査特別委員長などを歴任。

東京都知事表彰、区政功労者（特別）表彰などを受章。

請願・陳情とは

区議会は、区民の皆さんの区政に関する要望等を請願や陳情として受け付けています。

請願は、憲法で保障された「請願権」の趣旨に従い、皆さんの意思を政治に反映させるためのもので、議員の紹介が必要です。

陳情は、議員の紹介が必要ではない点で請願とは異なりますが、本区議会では、内容が請願に当てはまるものについては、請願と同様に取り扱っています。

外国人行政に関する意見書

国際化が進展する中、各地方自治体では、日本に住む外国籍住民への対応・取組がなされており、本区においても、国際意識の高揚と実質的な国際交流活動の支援等を目的として、各種の事業を展開しているところですが、しかしながら、現状においては、外国籍住民への対応は十分であるとは言えず、なお改善の余地があるものと思われま

す。

よって、墨田区議会は政府に対し、外国籍住民が差別や偏見を受けることなく、地域の一員としての生活が送れるように、左記の事項について強く要望いたします。

記

- 1 ビザ申請、更新に要する日数目安の新設及び再入国許可手続きの簡素化を検討すること。
- 2 改正出入国管理法の附帯決議の尊重及びその関連数値の公表を行うこと。
- 3 関係機関職員の適正配置及び研修の充実を図ること。
- 4 外国人行政に各自治体が積極的に取り組めるよう、適切な援助を行うこと。
- 5 帰国、在日外国人世帯の学齢児童生徒への日本語学習の制度化を検討すること。
- 6 外国籍住民の人権侵害問題の苦情処理機関を整備すること。

内閣総理大臣・法務大臣・外務大臣
文部大臣・自治大臣 あて

東京地方・高等裁判所の裁判官の増員に関する意見書

我が国では、情報化・国際化などの急速な進展に伴い、複雑化・多様化した法的な紛争が増大しています。また、近年の規制緩和により自由競争社会が確立されていく状況の中で、個人の自己責任が原則となつてきています。このため、透明性あるルールに基づいた司法機能を充実させ、住民に身近で使いやすい解決手段を提供し、適正かつ迅速に解決することが求められています。

しかしながら、裁判に対して解決する時間がかかる、十分な審理がなされていないとの批判が多く、これを早急に解決する必要があります。東京などの大都市においては、訴訟事件数が増加する一方で、裁判官一人当たりの担当事件数は膨大を極め、裁判官に過重な負担が課せられております。裁判官の担当事件数の多さは、裁判官数の少なさに起因していることは明らかであり、その多忙さのために、住民の適正かつ迅速な裁判を受ける権利に大きな影響を与えかねません。

よって、墨田区議会は政府に対し、法的な紛争を適正かつ迅速に解決するため、訴訟事件数に見合った東京地方・高等裁判所の裁判官の増員を強く要望いたします。

内閣総理大臣・法務大臣 あて

自治会館（仮称）建設に関する要望書を提出 — 5月10日提出 —

特別区協議会が建設を予定している自治会館（仮称）については、多くの区議会から見直し等の要望が出される中で、2月25日に実施計画が決定されました。

この実施計画に係る予算案を特別区協議会総会に提出するに際しては、特別区協議会の事務事業等の見直し結果を見て改めて判断することとして実施計画を了承した経緯を踏まえ、その見直し結果を十分検討した上で、建設計画の見直し等に反映するよう強く要望する要望書を特別区協議会に提出しました。

編集後記

区議会事務局から

今定例会は、会期中に衆議院議員選挙が行われたことに伴い、27日間という長期にわたる日程となったため、区議会だよりの発行を30日とさせていただきます。1面の写真は、常時募集していますので、よろしく願います。

区議会事務局調査係
（公5608—6352）

次の定例会は9月に開かれます。